

平成二十三年度

鏡野町友好都市交流事業

十月七日(金)鏡野町から十一名の方が、スイスのイヴェルドン・レ・バン市を訪問しました。友好憲章に調印して十五年となる記念の日でした。ペスタロッツチゆかりの地で、市とホストファミリーの歓迎を受け、貴重な体験と交流をしました。

(順不同・原稿のまま掲載)

山本幸子さん

今回友好都市交流事業に参加にあたって、たいへん楽しく旅行では体験できないホームステイができ、スイスの人々の生活にふれ、また小学校では授業の参観をし、はにかみながらも人なつこさのある子供達と歌での交換をしました。南から北へと移動する中、フランス語圏からドイツ語圏へ趣はまったく違う国の様でした。

藤田文子さん

貴重な体験をさせていただきまして感謝申し上げます。何事にも興味津々な一方で、知識や語学力のないことが大変不安でもありました。しかし、行く先々で笑顔と肌の触れあいのある暖かい歓迎を受け、たとえ、言葉が通じなくても心と心の交流が出来ることを学びました。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思います。

池口美保子さん

中世十八世紀歴史ある石畳、そこにペスタロッツチ像が起ち週末は市場が出来、そして野菜や果物を買ってホームステイ先で、カレーライスを作り召しあがって戴きました。御近所の人にも紹介して戴き『オカヤマ!カガミノ!ペスタロッツチ!』とおっしゃって握手を求められ、ゆったり、気分もいやされました。

杉田富枝さん

イヴェルドンはとても美しい街でした。何百年も前の街並が保存され整備され、古い建物の窓辺には花が咲きそろえられて絵はがきの様でした。初めてのホームステイでは、片言の英語とフランス語とジェスチャーで楽しく過ごさせてもらいました。良い経験ができたと思います。



イヴェルドン市のホストファミリーのみなさんと